

議 長 受付番号第4号、古谷星工人君の一般質問を許します。登壇願います。

2 番 古 谷 それでは、議長のお許しを頂きましたので、一般質問をさせていただきます。
受付番号第4号、質問議員、第2番 古谷星工人。件名、新型コロナウイルス
禍での台風シーズン到来について。

要旨。これから台風などの豪雨による風水害が多発する時期をコロナ危機の
中で迎えることとなります。次のことについてお伺いします。

(1) 避難所でのクラスター発生の危険性を避けるため、避難方法の幅広い
選択肢を考える必要があると思いますが、お考えをお伺いします。

(2) 旧焼却場跡地が広域避難場所になっていますが、民家の先から未舗装
区間、約150メートルの整備についてお伺いします。

以上、よろしく願いいたします。

町 長 それでは、古谷議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

まず、1点目の質問についてでございますが、基本的には、避難とは命の危
険が最も…危険な災害を避けるということが最優先であることは皆が承知して
いることでございますが、新型コロナウイルス感染が終息していない中での避
難についての御指摘だというふうに住じます。

現在町では内閣府中央防災会議発行の避難行動判定フローにより、平時から
町で配布している土砂災害洪水ハザードマップを確認し、御自分の家のある場
所に色が塗られているのか、危険区域に含まれているのかを確認し、含まれて
いれば原則として自宅以外への避難となります。

現在のところで申し上げますと、町が指定する避難所への避難となります。
例えば寄地区の場合、現在では町が指定する避難場所として寄小学校体育館と
なっておりますが、地理的に一時的な条件を考慮し、今後は地域の自主防災会
の皆様の御協力を賜り、近くの集会施設を利用することも有効だというふうに
考えております。また、分散避難という考え方も主流になり、その際の有効な
避難方法として、まず、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅へ避難すること
や、車両を使った車両避難、ハザードエリア内であっても、自宅を活用した在
宅避難などがございます。特に、自宅の2階へ避難することで、ある程度の土
砂災害、水害に対処することができます。また、旅館やホテルへの避難も有効

であることから、寄地区で申し上げれば、民宿組合さんや寄管理センター、市村自然塾や旧聖心女子学園丹沢校舎、ソシアリンクなどにも相談し、可能な範囲で避難所として御協力いただけるよう、働きかけてまいりたいというふうに考えております。

今後、コロナ禍での避難所…避難方法について、感染症対策をしっかりと行うとともに、各種災害における避難方法や要領の基準を町民へ提示し、より分かりやすい防災に関する知識の周知にも取り組んでまいります。

次に2点目の御質問にお答えさせていただきます。虫沢地区にあります旧焼却場跡地については、東西に約20メートル、南北に約40メートル、約800平米の広さがあり、平成24年度に改定した地域防災計画から広域避難場所に指定されております。この指定については、その当時の担当課としましては、旧焼却場跡地までつながっている虫沢林道の南側斜面に土砂災害警戒区域が指定されていたため、広域避難所等の指定は控えたいという話をさせていただいたようでございますが、当時の虫沢自治会から、地区が孤立した際の広域避難場所として旧焼却場跡地を選定してほしいという強い要望があり、指定した経緯があるということでした。

平成24年8月2日には、陸上自衛隊にも協力をいただき、ヘリコプターの離着陸訓練も実施されております。この訓練に参加した地域住民の方からは、ヘリコプターの離着を確認することができ、安心したという声もあったようでございます。しかしながら、当時からすれば、近年不測不能、また予想以上の自然災害が多発していることを鑑み、現在虫沢自治会長から、周囲の状況が危険であることもあり、広域避難場所の見直しを要望されておりますので、町といたしましても、広域避難場所の見直し等を考えているところでございます。今後、見直しをすることとなった場合には代替地の確保が必要となってまいりますので、地元の皆様方からの御意見を伺いつつ、虫沢林道の未舗装部分の整備を含め、地域の実情に合わせて必要な対応を行ってまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

2 番 古 谷 回答ありがとうございます。それでは、一、二点ですね、お伺いしたいと思います。

まず、(1)の避難所でのクラスターの発生の危険性を避けるためということでお伺いしました。巨大な台風9号、10号がですね、九州地方を襲いまして、避難所がいっぱいになったという報道を、よく新聞報道はされてました。その中で、今、回答の中にありましたようにですね、地元の旅館・ホテルとか民宿組合さん等をですね、一時的な避難場所としてというような、協力を働きかけていきたいというような御回答でした。ぜひですね、この辺は早めにやっていただきたいなというふうに思っております。

それと、これに指定…そうなった場合にですね、準備がどうなのか。例えば、通常の避難場所の備品と、コロナが関わっていますので、コロナに対する消毒薬だとかマスクだとか、その辺の、体温計ですね、その辺も準備はもう一緒にですね、並行に進めていっていただければいけないのかなというように思います。

それからあとは、車の中で避難するというのもよく話聞きます。その場合怖いのがエコノミー症候群、よく言われますけども。その辺に対して現場にいられる方がどのような対処できるのか、ちょっとマニュアル的なものもできてるかなというようには思いますけども、もし具体的にですね、あれば、ちょっとお伺いしたいというように思います。

参事兼総務課長

ただいまの古谷星工人議員の御質問にお答えします。まず、準備の関係なんですけれども、避難所の用品といたしまして、コロナ対策の関係でですね、通常ですと段ボールですとかそういったものでパーテーションを区切るんですが、それですとちょっと重たいとか場所を取るので、当町としてはテント、2人用のテント、大体2メートル…2メートルテントを、今のところ400張購入しております。それを各避難場所へ配備をしているところでございます。それとやはり寝るときがございまして、その中で使うマット、それも400枚ですね。それから、アイマスクですとか耳栓、スリッパ、ウエットティッシュ、ビニール手袋、それから体温計なども購入しまして、各避難所のほうに配置をしているところでございます。

それと、先ほどのエコノミー症候群についてというのは、随時承知してるところでございますけれども、その辺の細かいマニュアル的なものはまだできてな

い状況でございます。以上です。

2 番 古 谷 今、準備のほうはですね、テント、マット、400ずつ準備ができているというお話を伺いました。エコノミー症候群につきましては、順次ですね、整備のほうしていただければなというふうに思います。それと、車で来られた方、今、車で避難される方の駐車場の確保ですね、これも一般に避難して来られた方と駐車場はまた別に分けたほうがいいのかというふうに思いますので、その辺も併せて検討していただくということをお願いしたいというふうに思います。1つ目のほうはですね、細かく回答いただきましたので、終わりにしたいと思えます。

2つ目のほうの、旧焼却場跡地が広域避難場所になっていますが、民家から先の未舗装区間の150メートルの整備についてお伺いをしますということですが、回答の中ではですね、整備のことあまり…全然書いてなくて、避難場所の設置、また経過、今後どうするかというような回答ばかりでしたので、ちょっとこの辺も含めて、現状、虫沢林道の現状、多分現場見に行ってもらえるかと思えますけども、ちょっとお話しさせていただきたいというふうに思います。

虫沢林道のここ数年ですね、整備はされていないように思われます。側溝は埋まっていますし、路盤が上がってしまっていて、ガードレールも足の部分しか出てないところが数か所ありまして、これではいざというときに防御ができない状況になっていると思えますし、転落してしまいそうなところもあります。この虫沢林道、一部生活道路としても利用されています。上河原地区の人が使っておりますけども、一昨年ぐらいだったと思えますけども、一部のり面に防護柵、石が落ちてこないようにですね、やっていただいた、設置された経過もあります。それと、去年の台風19号のときには災害廃棄物の一時保管場所として利用されてました。それに伴ってですね、当然道路はがたがたの状態では搬入されたので、搬入・搬出に苦労はされたかというふうに思います。それとあと、過去の話になりますが、第7分団が巡回に行ったところ、未舗装の部分から砂利と水がどんどん流れてきて、前に進めなかったというような話も聞いておりますので、ぜひこの辺は頭の中に入れていただきたいと思いますというふうに思います。

それからもう一つ、この虫沢林道、ハイキングコースはなじょろ道の入り口にもなっています。未舗装の部分から舗装の部分に路盤の石がすごく流れてきています。これでは非常にはなじょろ道行くまでの間にですね、石の上でけがをするんじゃないかという心配もしておりますので、できれば早めにこの辺の整備も含めていただきたい。

それから、台風19号ではなじょろ道通れなかったんですが、9月4日に全線開通ということで、町のホームページにも出てました。そうするとですね、このコロナ禍の中ではありますが、ちょうど秋の陽気のいいシーズンになりますので、ハイキングに来られる方が大勢いられるというように思いますので、この辺も含めて、整備のほうの、よろしくお願ひしたいというように思います。

それで、その先は県営林道になっていますが、県営林道の起点のところ丸塚沢という沢があります。これは四、五年前にきれいに整備していただいております。過去にはここの雨水が全部虫沢林道のほうに入って、路盤が上がったり何だりした経過がありますけども、今整備されましたので、その土砂は流れてこないと思いますので、今までと違った観点から整備ができるかなというように思いますので、よろしくお願ひしたいというように思います。具体的にどのような整備をいつ頃からというお考えがあればお聞きさせていただきたいというように思います。

参事兼まちづくり課長

それでは、御質問にお答えさせていただきます。まず、御指摘のありました現在の林道の状態ですけども、議員おっしゃるとおり、穴があいていたり、側溝が埋まっていたりということでございます。これにつきましては、下のほうのですね、林道の町道に近いほうの人家に特に影響がないように、まずは確認をさせていただいて、優先的に修繕、通常の状態に維持管理ができるようにしていきたいというふうに考えます。

その次にですね、沢から出た砂ですとか、未舗装の部分の整備につきましては、今、計画的にはない状態でございます。今後ですね、避難所…避難場所としての検討も含めた中で林道を利用される方々との話し合いを持ちまして、今後こういった形で整備をしていくのかということを検討させていただきます。以上です。

2 番 古 谷 今の回答いただきましたけども、人家の入り口のほうもですね、大分ひどくなっているようなところもありますし、先ほど申しましたように、一部防護柵を設置していただいたところもあります。その上へ行きますと、流れてきちゃっていますので、ぜひですね、早い時期に、人家のほうも含めて、未舗装部分改修できるようにですね、お願いして終わりたいと思います。以上で終わりにいたします。

議 長 暫時休憩します。11時半から再開いたします。 (11時15分)